

大好き!
ふくしま



奥会津博物館にある藍染めの液を入れる甕は石で造られており、石甕は全国でも珍しいといえます。



地域の人と藍染めを通して交流を図る「みんなの藍」プロジェクトを立ち上げ、予想をはるかに上回る参加者が集まりました。

藍染めに魅せられて
毎日が学びと発見の日々

都内で料理人として腕を振るった後、日本各地で農業や畑仕事に従事していたという川嶋さん。その中で何気なく始めた「草木染め」から「染め物」に興味を湧き、「藍染め」を継承する地域おこし協力隊に応募しました。「藍染めは葉の栽培から染めまで、どの工程も知れば知るほど奥深く、どんどん魅了されていきます。毎日が楽しくて仕方ありません」と笑顔が素敵な川嶋さん。

現在、奥会津博物館で藍染め体験の受け入れのほか、栽培や染めの技術習得に努めています。その傍ら、私生活では機織りにも挑戦しており、「身近でこうした伝統文化に触れられるのもこの町の魅力です」と話します。「学びたいことがまだまだあるので、今後はどの工程を中心に習得していくかが悩みどころです」と、藍染めへの愛はまだまだ止まらない様子でした。



藍染め体験にぜひお越しください!



南会津町
地域おこし協力隊
かわしま めぐみ
川嶋 恵さん
(東京都出身)



人生で初めてシイタケの収穫体験をしました。

泉崎村にある「農事組合法人ひかり」を訪問しました。
この施設では、有機JASやアジアGAP等の認証を取得し、化学肥料などに頼らない「自然」の力で栽培された安全・安心なシイタケを生産しています。地域の雇用や特産品を生み出しているすばらしい取組に感激しました。
今後、このような地域での取組を県としても様々な形で後押ししていきたいと思えます。

泉崎村の「オーガニック菌床シイタケ栽培施設」を訪問しました。

知事の活動を

伝えるコーナー

知事
だより

vol.23

